

# なかよし塩川

第5号

文責：教頭（原）

## タブレットを使って勉強をしています

今年度のスタートに合わせて、一人1台ずつ使えるタブレットが導入されました。一人ひとりへのタブレットの割り振りが完了したり、起動するときにQRコードを使って簡単にログインできるように工夫されたり、徐々に使用に向けた整備が進み、6月上旬には授業の中で活用され始めました。子どもたちの、すぐに操作をマスターする様子を見ると、生まれた時から身近にパソコンがある世代だからかなと感じます。きっと、普段から家にあるパソコンなどを使っている子もいるのではないのでしょうか。

まだ現段階ではこのタブレットを家庭へ持ち帰って使うようにはなっていませんが、ゆくゆくは家庭へ持ち帰って使うようになるかと思われまます。その時の使用の注意の通知が教育委員会から来ています。この通知には、家にあるタブレットなどの端末を使う時に気を付けたいことも載っていますので、裏面に掲載してお伝えします。ぜひ、ご覧いただき、安全で安心な使用に心がけてください。



## ボランティア多目的室の活動

今年度から、北校舎2階の3年生の隣の教室を「ボランティア多目的室」と名付け、学校と地域を結ぶ場所として活用を試みています。コロナ禍ということや、使い方がきちんと定められていない状況でありますので、地域の方に自由に来ていただくというにはいきませんが、運用しながらよりよい活用の仕方を模索しています。まずは、塩川お話の会の皆さんに手芸や工作をする場として利用していただき、そこへ子どもたちが参加をしています。7月1日（木）には、朝の読み聞かせの時間に1年生の教室で読んでもらった本の中に登場した竹とんぼに関連して、塩川お話の会の方々を先生として、1年生を対象に「紙トンボ（牛乳パックでできた羽とストローを使った軸の竹とんぼ）」作りが行われました。2時間目休みという短い時間でしたが、くるくるとよく飛ぶ紙トンボに、1年生の子どもたちは大喜びです。それを見ていた3年生も、参加せずにはいられませんでした。どうやったらよく飛ぶのか、先生が作ったのと自分の作ったのをじっくりと



見比べる子がいたり、中には「作り方を教わって、家で作ってみよう」という子も出てきたりしました。子どもたちにとっては、遊びの中で「学び」を体験する時間でもあり、とても有意義な時間になりました。今後も、子どもたちと地域を結び、子どもたちがよりよく育っていくための場として有効な活用の仕方を探っていきたいと思えます。



### ななちゃんがやってきました

塩川小に、新しい仲間が増えました。仔羊の「なな」ちゃんです。3年生と一緒に生活している羊のヤンヤンのお嫁さんとして7月7日（水）にやってきました。かわいいという表現以外に表しようがない愛らしさです。3年生の子どもたちはもちろん、全校の子どもたちが、新しい仲間に興味津々です。ヤンヤンも早速ご挨拶をしていました。これからの3年生の活動の広がりも楽しみです。



### 通学路の安全について

6月11日（金）に行われた、安全対策指導委員会による「子どもの安全対策会議」で、通学路になっている県道へのガードレールの設置など、通学路の安全について意見が出されました。その件について、丸子自治センター市民サービス課と建設課の方が、現状の説明に来てくださいました。自治センターからは、毎年、年に1回、県の建設事務所の方へガードレールの設置を要望として上げていただいているそうです。6月28日（月）には、千葉県で飲酒運転のトラックが児童の下校の列に突っ込むという、あってはならない事故が発生しました。こういった事故に合わないようにするためにも、今後も子どもたちの通学路の安全については、PTAや地区の自治会とも協力しながら、継続的に要望を県に届けていくように動いていきたいと思えます。

